

旭化成グリーンボンド 年次レポート（2024年度）

当社は2023年12月に水力発電所改修工事費用を用途とするグリーンボンドを発行し、調達資金の充当状況および環境改善効果を年次で公表することとしております。2024年度（2024年4月～2025年3月）の状況は以下の通りです。

1.対象事業について

当社は現在、大正時代に建設した水力発電所による電気を当社延岡地区の工場群へ送電し、事業活動に活用しています。今回の水力発電設備改修工事は、老朽化および耐震性の点から、寿命が到来しつつある水力発電設備を更新し、あわせて高効率化することにより、再生可能エネルギーの更なる利用を実現するものです。旭化成グリーンボンドは、下表の五カ所の水力発電所を対象としています。なお、当社が保有する水力発電の総容量は56.4MWです。

事業カテゴリー	適格事業	プロジェクト	発電所形式	改修後 最大出力	状況
再生可能 エネルギー	水力発電設備	五ヶ瀬川発電所	流れ込み式	14.5MW	2022年5月運転開始
		馬見原発電所		5MW	2025年1月運転開始
		水ヶ崎発電所		19.1MW	2025年6月完工予定
		川走川第一発電所		2.4MW	2026年8月完工予定
		川走川第二発電所		3.7MW	2026年8月完工予定

2.資金充当状況と環境改善効果

2.1資金充当状況（2025年3月末時点）

五ヶ瀬川発電所は2023年度まで充当完了致しました。その他の発電所は2026年度までに充当を完了する予定です。調達資金のうち118億円を充当しました。うち、リファイナンスは59億円になります。

	調達金額（億円）	充当金額（億円）	未充当額（億円）
水力発電設備	200億円	118億円	82億円

2.2環境改善効果

2024年度において、資金使途プロジェクトのうち五ヶ瀬川発電所・馬見原発電所は稼働期間のCO₂排出削減量、その他の未稼働の発電所は稼働後1年間あたり以下の削減量を見込んでいます。馬見原発電所は、2025年1月に運転を開始致しました。

	改修後水力発電設備発電容量（MW）	*CO ₂ 排出削減量（ton-CO ₂ e）
五ヶ瀬川発電所	14.5MW	3.2万ton
馬見原発電所	5MW	0.2万ton
水ヶ崎発電所	19.1MW	4.1万ton
川走川第一発電所	2.4MW	0.6万ton
川走川第二発電所	3.7MW	1.0万ton

*CO₂削減効果=年間発電量(kWh)×CO₂排出係数(kg-CO₂/kWh)
CO₂排出係数：九州電力のCO₂排出係数（2023年度実績）

なお、本レポート実施にあたっては、R&Iよりレビューを受けています。